

葉山町子育て支援センター ぽけっと 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1 TEL: 046-876-4152

まちにまった桜景色。新芽の緑が明るく花々は色づき、華やかな季節ですね。重いコートを脱ぎ捨てて、さあ外へと元氣よくいきたいところですが、(ちょっと待って。まだついていけない…)というのは私の心の叫び。春は少々苦手です。

卒園、卒業、転校、職場内の送別など等・・・それを繰り返して大人になりましたが、仕事柄、喜ばしい門出も含めて身近な人たちとのお別れに涙の多い三月。心をいっぱい遣って、遣い果たして、今度は新しい出会いにいささか緊張気味で迎える四月。そんな心の機微を記憶しているのでしょうか。春のまぶしさに、氣後れしてしまうのです。

子どもたちを見ていても、新しい環境に馴染むまではドキドキですね。入園、入学はもちろんのこと、進級だってやっぱり不安はあるはず。なんとなく幼稚園や学校へ向かう足どりが重たそうに見えることもあるかもしれません。「前のクラスの方がよかった…」なんて後ろ向きに見える発言もあるかもしれません。できれば、環境の変化に動じない強い精神力を持ってほしいと、親ならだれでも思います。そして、そういうお子さんもたくさんいます。

しかし、**三步進んで二歩下がり、また三步進んで気がついたらこんなに進んでいた**となればいい。振り返るのは「良かったな」「楽しかったな」という経験があるからこそ。ついつい「元気に!」とか「がんばって!」「楽しく!」と景氣の良い言葉をかけがちですか、いつものペースと変わりがなく、「今日も一日いい日でありますように」という当たり前の願いをもって**ゆっくり進むのを見守ってあげよう**と思うのです。

その一日一日が積み重なると、「今が一番幸せに感じるようになるもの。私も今は自分の内面に向き合い、静かに春を味わうことが喜びです。季節の移り変わりや心の変化、四季があるからこそ生まれる感性を大事にしたい」と思っています。

センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

4月の予定

◆♪ いいこといいこと♪

「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30

〈水曜〉 えいごで遊ぼう 4月は第3のみ1回

〈第2第4木曜〉 おやこでダンス (近ゆきこ先生)

〈第1火・水〉 マニスの話し会 (丸山さちこ先生)

◆「0歳児つどいの広場」毎週木曜 10:00-11:00

休館日・開館時間

◆ 大掃除

4/27(金)

※広場は11:00~

◆ 休館日

日曜・月曜・祝日

◆ 職員会議 4/21(土)

※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります

いいこといいこと♪
広場の遊びから

ぽけっとにお別れしても子育て応援団の一員で…

自分の子育て中のいろんな人との出会いを通して得てきたものを、私なりの形で次の子育て中の方々へお返ししたい気持ちで、ぽけっと以外でいろんな活動をしてきました。今はつくしんぼの会という野外保育です。週2日、2、3歳の子もたちと山や海、川へ出掛けています。活動中、大人は極力口を出さない手を出さない姿勢で子どもを見守ります。子どものやりたいようにやりたいだけやらせてあげるようにしていますが、時にそれを苦しいと感じるママも多いようです。でも、一年間その姿勢で見守っていくと、子どもたちはメキメキと力を伸ばしていきます。長い目で見て「まっそのうちに」と思っていると、ある日フレイクする時がくるのです。お友だちと楽しそうに遊ぶようになったり、自分で着替えができるようになって自信を持てるようになったりして、イキイキとした表情をみせてくれます。その小さな身体の中に秘められた力にいつも感動し、待ってあげることの大切さを痛感します。ぽけっとでもつくしんぼでもたくさんの親子との出会いのお陰で私も更に多くのものを得る毎日です。

立ち上げ準備から関わってきた

ぽけっとにお別れすることになりますが、これからもみなさんの子育て応援団の一員でありたいと思っています。ありがとうございました!



◆ 野川 典子 (のがわのりこ=ノリ先生) 事務担当 ◆

一時預かり
ぶちのお部屋から

心が春のようにいつもほっこりしています ♥

こんにちは! 火曜の3時からと木曜の9時から17時、ぶちにいる笠谷裕子です。学生時代のあだ名からユッコ先生となりました。絵を描く事と猫が好きです。ファミサボの支援会員でしたが、縁あって昨年末よりぶちへ参加することになりました。ぽけっとでの柔らかく優しい時間に、心が春のようにいつもほっこりしています。外も段々と暖かくなってきましたね! お散歩でどんな春探しができるか楽しみです。

さて、子どもの頃から大好きな絵本をご紹介したいと思います。

『ほくのほね』きたむら えり作。「(出版社からの紹介を抜粋)りすのころは、あるにれの木に住んでいます。好きなものは、お父さん手作りのぶらんこと、おやつと、小鳥の羽根です。お天気の日、ころは集めていた羽根を干してから、森へ遊びに出かけました。しばらくして帰ると、干していた羽根がなくなっています。ころの羽根をもっていったのは…」絵もホンワカと可愛らしく、フワフワのシッポに触ってみたいくなったり、集めたたくさんの羽根にワクワクしたり、ころの勇気と優しさに、今読んで胸がジーンと熱くなります。昔の絵本ですが、図書館などで見つかったらどうぞ読んでみてくださいね!



◆ 笠谷 裕子 (かさや ゆうこ=ユッコ先生) ぶち担当 ◆



ぽけっと

新メンバー紹介

ぽけっとのせんせい



オープンして3年半、新しい先生を迎えてますますパワーアップしていきます！

2008年10月に、ぽけっとが誕生してから早いもので3年半が過ぎました。昨年からの初めにかけて、ぽけっとは8名の新しい先生を加えて、総勢21名の体制でみなさんをお迎えしています。設立当初は14名でしたので、7名も増員したことになります。その理由としては、①緊急の対応やキャンセル待ちの解消のため、ぶち(一時預かり)を3人から4人体制にしたこと ②ファミサポを1人から3人体制にしたこと ③事務職を増やしたことetc.が挙げられます。

ぽけっとの職員は、保育士や幼稚園教諭など保育経験だけでなく、地域の子育て関連のボランティア活動に従事するなど、いろいろな分野での特技や経験をもっています。これまでもコラム記事で自己紹介などを載せてきましたが、これから多岐に触れて紹介していきます。今回は、昨年度から新しく加わった先生方の紹介と締められて新たな道へ進まれた先生について取り上げます。



ぽけっと no NEW FACE



ココロ せんせい
いしい ゆきこ
石井由樹子
事務 担当



ドンチャンせんせい
こばやし えみ
小林 恵美
事務 担当



オコ せんせい
ふじおか きょうこ
藤岡 恭子
ぶち 担当



マサヨ せんせい
せんだ まさよ
千田 真代
ぶち 担当



ジュンコ せんせい
もりさき じゅんこ
森崎 順子
ぶち 担当



チイ せんせい
しばさき ちとせ
柴崎 ちとせ
ぶち 担当

よろしくおねがいします！



エリカ せんせい
いそむら えりか
磯村 えりか
ぶち・事務 担当



ヨッコ せんせい
かさや ゆうこ
笠谷 裕子
ぶち 担当

おつかれさまでした

行谷 恵美 (なめがや えみ) 先生
相原コリア (あいはら ゆりあ) 先生
野川 典子 (のがわのりこ) 先生
西川 恵理子 (にしかわ えりこ) 先生

得意の栄養・調理分野をさらに生かすために昨年9月末付で退職されました。
海外へ転居されるために、昨年10月末付で退職されました。
野外保育「つくしんぼの会」活動に専念されるために今年3月末付で退職されました。
小学校で補助教員としての仕事に専念されるために今年4月末付で退職される予定です。

より一層のご活躍を！

ふあみさぽ ファミリー・サポート・センター

昨年の東日本大震災から、早いもので1年が過ぎました。新しいスタートというには程遠い、長い長い復興までの道のりです。南から咲きはじめた花の便りに、昨年、被災地に咲いた満開の桜を思い出しました。葉山にいる私たちにできることはわずかでも、今いるこの場所で、カー一杯、皆様のお役に立てるようにと生きていこうと思う毎日です。

4月は新入園・新入学の季節。ファミリー・サポート・センターを利用している子どもたちも、1年成長して春を迎えました。おねがい会員さんからお預かりの時間の変更などの依頼があり、子どもたちの成長を実感しています。そして、育児休暇から復職される方や保育園を卒業して学童保育を利用するお母さんが、ファミサポの利用を考えて登録手続きをされています。まかせて会員さんに依頼のお電話をすると、「どんな依頼ですか？喜んでお手伝いさせていただきますね。」とうれしい一言。また、新しい出会いを楽しみにされている様子です。

ファミリー・サポート・センターの活動は、「おねがいします」「まかせてね」そんな気持ちのやりとりを大切にしています。新しい出会いとともに、温かな気持ちがつながってゆくことを楽しみにしています。

アドバイザー一同



子育てをこころの発達から考える 子どものこころ 親のこころ

子どもの人権…自分のこと相手のことを守るために

先日、小学校入学を控えたKちゃんのママから「ひとりで通学できるかしら。疑うことを知らない子だから心配…子どもをどうやって守ったらいいのでしょうか？」と聞かれて、その場ではうまくお話しすることができませんでした。人を信頼できるのは心が安定している証し。友だちと仲良くできたり良いことの方が多いのですが…**危ない状況を察知して回避する力**もつけてほしい。私自身もわが子が幼い頃に「知らない人に話しかけられてもついて行ってはいけません」と話しながら、必要以上にこわがらせるのではないかと、人を疑うことを教えることにならないかと、戸惑った覚えがあります。

子どもをさまざまな暴力から守るために人権教育をしているCAP (Child Assault Prevention) はその疑問にわかりやすく答えてくれます。一だれもが「安心」「自信」「自由」3つの基本的権利をもっている。「ふあん…」「こわい…」「いたい…」と感じたら、もう人権は脅かされている。そんなときは自分を守るために「GO=逃げる」「NO=イヤと言う」「TELL=相談する」べき。①安全な問合いの取り方 ②大きな声の出し方 ③抱きつかれたときの逃れ方 etc. 劇中で実際に見せてもらえて、どんな状況が「不審」かお子さんにもわかりやすい。不審な(=人権が脅かされる)状況には、言葉の暴力や無視、性的なものなどわかりにくいものもあります。安心・自信・自由が奪われると察知するためには、**自分の存在をたいせつと感じていること(=自己肯定感)**がとても重要。危機から逃れて自分の身を守る底力になります。

“たいせつな自分”が脅かされたらがまんしないでいい、助けを求めていい。暴力に訴える相手もまた誰かの助けが必要な状態…止めることが“相手をたいせつ”にすること。暴力の連鎖を防ぐことにもつながっていくはず。

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当 ◆

